

イオンモール堺鉄砲町

スマートコミュニティを実現した賑わいカジュアルモール

- 所在地：大阪府堺市堺区鉄砲町
- 用途：物販店舗・飲食店舗

- 建築主：イオンモール株式会社
- 設計者：株式会社竹中工務店 大阪一級建築士事務所

- 敷地面積：86,539.01 m²
- 建築面積：33,913.8 m²
- 延べ面積：115,588.00 m²
- 構造：鉄骨造
- 階数：地上4階
- CASBEE 評価：Sランク／BEE 値 3.4
- 重点評価：CO₂削減 4.1／省エネ対策 4.4
みどり・ヒートアイランド対策 2.5



【立地、周辺環境】

南海電鉄七道駅前に面し、敷地東側を南海本線の線路、北側を大和川に接した敷地である。敷地内には、工場の事務所棟として利用されていた赤レンガ建築が残存する。

【総合的なコンセプト】

内部商空間としての「インナーモール」だけでなく、季節を感じながら誰もが散歩できる、常時開放の「アウターモール」を設けることで、都市の自然と商空間をつなぐショッピングモールである。「アウターモール」には、三室下水処理場で高度処理された下水再生水を利用した「せせらぎ」や、緑豊かな植栽を設け、堺の環濠風景を再構築することを意図した。また、工場の事務所棟として残存した赤レンガ建築を耐震補強することで保存再生し、歴史的遺産を中心とした「赤レンガ広場」をつくることで賑わいの核とした。敷地内に保存した稲荷神社のまわりには、「せせらぎの社」を計画し、植生によって生物多様性に配慮した。ショッピングモールが、土地の記憶をたどる散歩道として、街に開かれた憩いの場になっていくことを期待している。

建物断面構成図



駐車場緑化(並木道・植栽)



吹抜(LED照明)

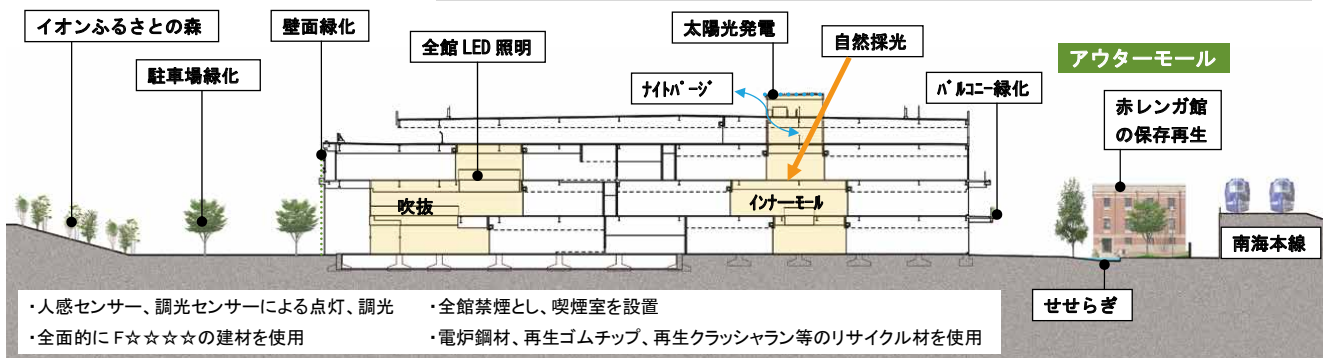


インナーモール(自然採光)



アウターモール(赤レンガ館・せせらぎ・緑化)

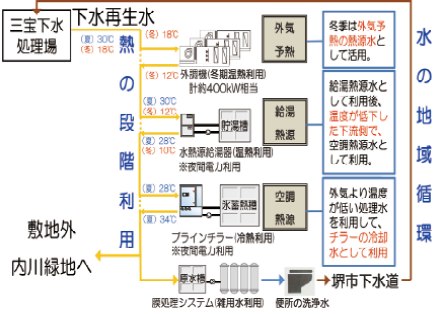
PAL(PAL*) 620 MJ/m²年 PAL 低減率 13.5% ライフサイクル CO₂ 排出量 86kg/年 m³



環境配慮事項とねらい

下水再生水利用

未利用エネルギーである下水再生水の熱利用と、水資源としての活用を行っている。



せせらぎによる堺の環濠風景の再構築

下水再生水を利用したせせらぎを設け、緑と潤いのある堺の環濠風景を再構築した。



赤レンガ館の保存と再生

赤レンガ館を耐震改修し、レストランとして再生。赤レンガ広場と一体的に利用できる。

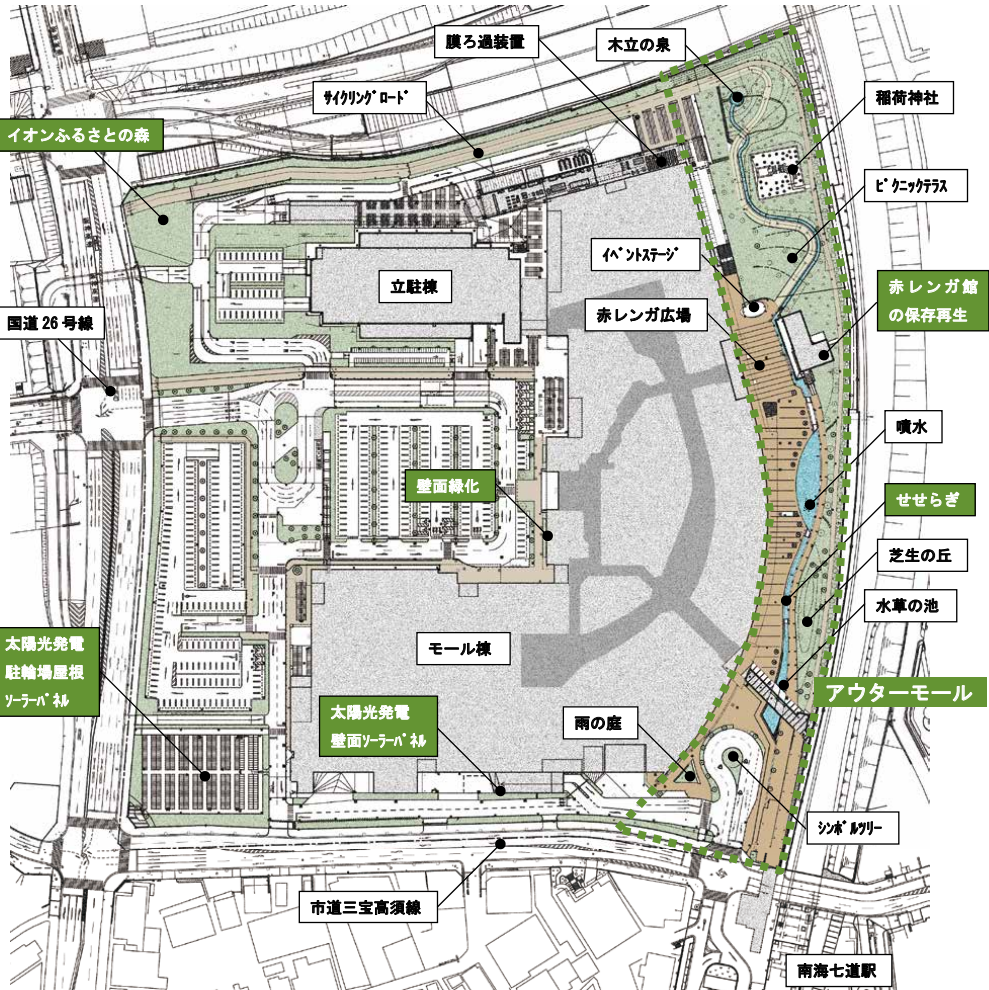


二つの日本初となるスマートモール（環境配慮）の取り組み

- ①下水再生水を給湯と空調の熱源として二段階利用
- ②下水再生水を膜ろ過処理することで水源として複合利用

国交省・経産省補助金事業に採択

- ①国土交通省「平成25年度住宅・建築物省CO2先導事業」
- ②経済産業省「平成25年度再生可能エネルギー熱利用高度複合システム実証事業」



イオンふるさとの森

地域の方々の手で植樹をしていただき、緑を育ててゆく、イオンふるさとの森。



壁面緑化

外部からのみならず、内部（フードコート）からも緑を感じられる壁面緑化を設置。



太陽光発電

南側外壁面や搭屋根、駐輪場屋根にソーラーパネルを設置し、太陽光発電により発電。（約500kw）

